

第12回 のらくろマンガ賞  
まもなく締め切りです!

- ★コマ漫画部門 テーマ「ひらく」
- ★ストーリー漫画部門 テーマは自由
- ★イラスト部門 テーマ「大切」

詳細は館内チラシ、または財団ホームページをご確認ください。

《審査員の先生方》

永田竹丸、山根青鬼  
江波じょうじ、たちいりハルコ

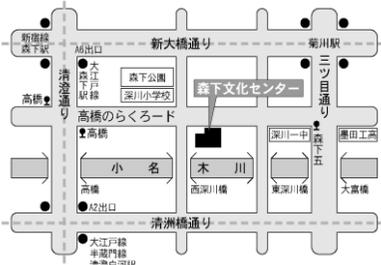
10月31日(月)  
必着です!  
お待ちしております。



©田河水泡 / 講談社

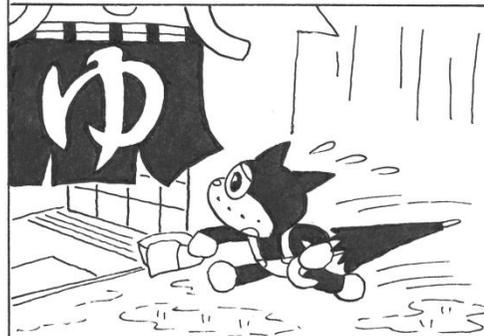
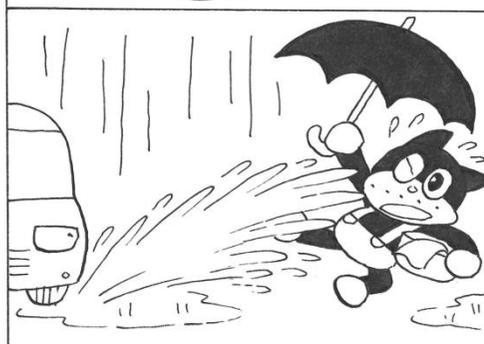
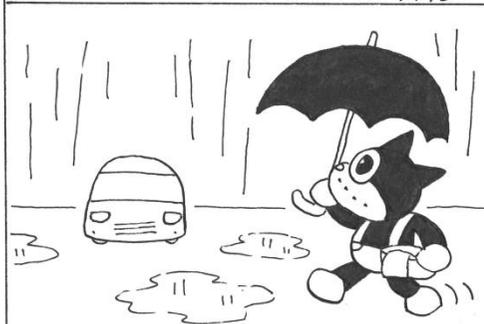
平成28年10月15日発行  
公益財団法人  
江東区文化コミュニティ財団  
心にうるおい、地域ににぎわい。  
Koto City Culture and Community Foundation

江東区森下文化センター  
田河水泡・のらくろ館



〒135-0004 東京都江東区森下3-12-17  
電話 03-5600-8666  
FAX 03-5600-8677  
HP <http://www.kcf.or.jp/morishita>  
【開館時間】午前9時~午後10時  
【休館日】第1・3月曜日(祝日の場合は開館)  
年末年始(12/29~1/3)

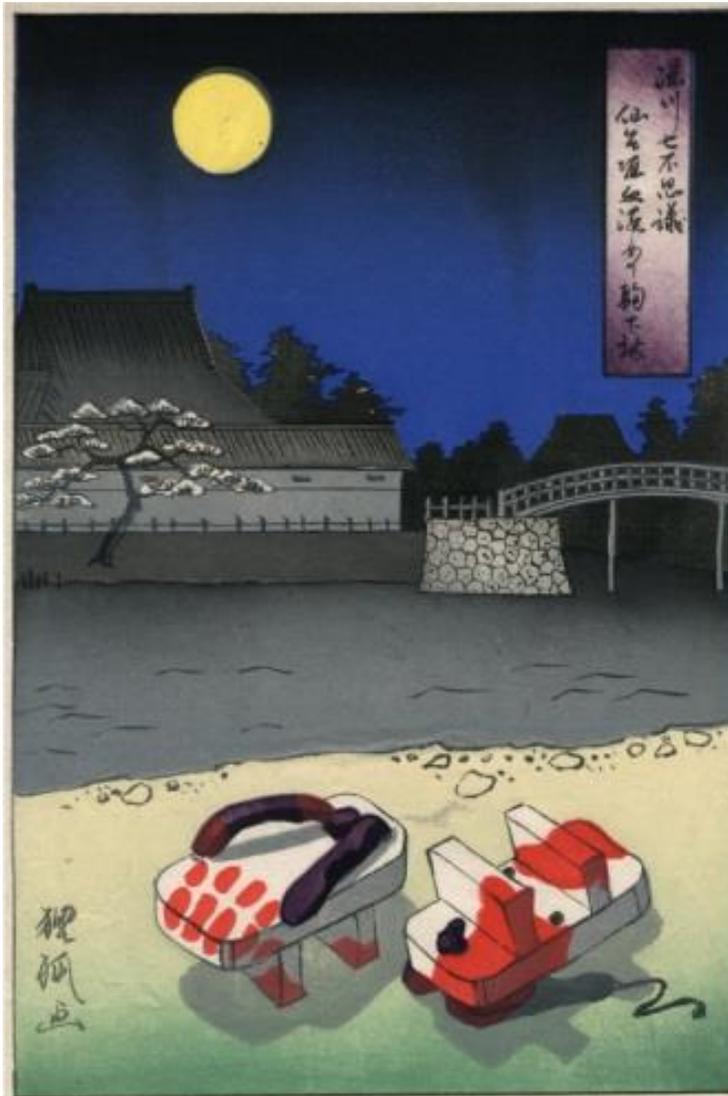
のらくろちゃん  
(かさ) 山根青鬼



のらくろ便り

'16 10月号

北葛飾狸狐・画、三木淳史・彫り刷り『深川七不思議』浮世絵風木版画より「仙台堀血染めの駒下駄」



「深川七不思議  
一 仙台堀血染めの駒下駄」

この堀で殺された者の血の付いた下駄が河岸に残されていた。土地の者が川へ流すたびに、いつのまにか元の岸に戻るといふ。

マンガを学ぼう！～秋の講座より～

# SFマンガの魅力

第1回 10月16日(日)

手塚治虫のSF作品

～それは『来るべき世界』から始まった

【講師】辻真先(脚本家)

手塚るみ子

(プランニング・プロデューサー)

【聞き手】タカヒロズ(マンガ研究集団)



『来るべき世界』  
©手塚プロダクション

原画集  
©柴田昌弘/白泉社



第2回 11月20日(日)

男性が描くSF少女マンガの世界

～『紅い牙』を中心に

【講師】柴田昌弘(漫画家)

【聞き手】綿引勝美(メモリーバンク代表)



『超人ロック クアードラ』  
©監修 少年画報社

第3回 12月18日(日)

『超人ロック』50周年

～作画グループのSFマンガ家たち

【講師】聖悠紀(漫画家)

みなもと太郎(漫画家)

【聞き手】綿引勝美(メモリーバンク代表)

■回数 全3回 ■時間 14:00～15:30

■費用 全3回4,000円・1回ごと1,500円

■会場 森下文化センター 2階多目的ホール

■対象・定員 一般100名

森下文化センターならではのマンガ講座です！  
先着順で受け付け中です。お申し込みはお早めに！

# プロに学ぼう！マンガ道場

本講座は、公共施設では珍しい“プロから学ぶ、本格的なマンガの描き方”教室です。

全くの初心者から、テクニックを学びたい方まで、レベルに合わせて指導します。

【講師】江波じょうじ(漫画家)



講師作品

◆日時：平成28年11月12日(土)  
～平成29年3月25日(土)  
隔週土曜日 14:00～16:00 後期10回  
◆対象：小学5年生以上  
◆定員：20名  
◆受講料：14,000円(後期10回分)  
◆教材費：1,000円(後期10回分)

こちらも先着順で受付中です！

- ・キッズチアダンス～ソングリーディング～
- ・森下女声コーラス
- ・うたう・楽しむ・元気になる 童謡唱歌の世界

フェイスブック  
はじめました！



詳細はお問い合わせください。お早めどうぞ！

# 応援しよう！ 熊本県

くまもと応援のらくろTシャツ  
森下文化センターにて販売中！

こども用  
(正面プリントのみ)  
1,300円(税込)



サイズ：110～160

大人用  
(正面、背面プリント)  
1,600円(税込)



サイズ：  
S・M・L  
XL・XXL

販売利益は、  
熊本県の復旧・復興のため全て寄附します。

※江東区文化センター・総合区民センターでも販売しております。

森下児童館から橋まで  
～東深川橋のおはなし～

昭和五三(一九七八)年に架けられた現在の橋は、これまでに取り上げてきた橋と異なり、都会的で洗練された印象があります。何と云っても、上にかかる白いアーチが・・・と続けたいところですが、このアーチ、実は橋の一部ではなく、隣接する水道管なのです。あつ、確かに橋との間に隙間が。しかしこの橋、スカイツリーがきれいに見える穴場スポットとしてネット上では有名なようです。

現在の一代前の橋は、震災復興橋として昭和五(一九三〇)年に架けられました。当時、小名木川を通る船が増加していたため、水深を掘り下げたり、橋桁の高さ・幅などが考慮されたそうです。

江東区中川船番所資料館(現在、改修工事のため十一月一〇日まで休館中)には、「東深川橋」橋銘板と「80分の1竣工図」が展示され、当時の姿を垣間見ることが出来ます。「この橋銘板、実は鑄物なのでとても重いですよ。」と、久染健夫次長の解説がありました。さすが復興建築物、細かなところにもこだわりがあるんですね。ぜひ改修後の船番所資料館で確認ください。

資料館で小名木川の歴史を学んだあとは、川沿いの遊歩道を散策するのもおススメです。

東深川橋の外観  
存在感のある白いアーチが目印です。



江東区中川船番所資料館

かつてこの地にあった中川番所や小名木川の今昔が学べます。

〒136-0072

江東区大島九一―十五

電話 〇三―三六三六―九〇九―二

十一月一〇日まで改修工事による休館です。